

ダブルインシュレーション工法

■特長

- ①断熱性に優れています。
熱貫流率0.64W/m²K(密度10kg/m³、厚さ100mmのグラスウール)
- ②単位面積あたりに使用する材料の効率及び施工性により
経済性に優れる。

■用途

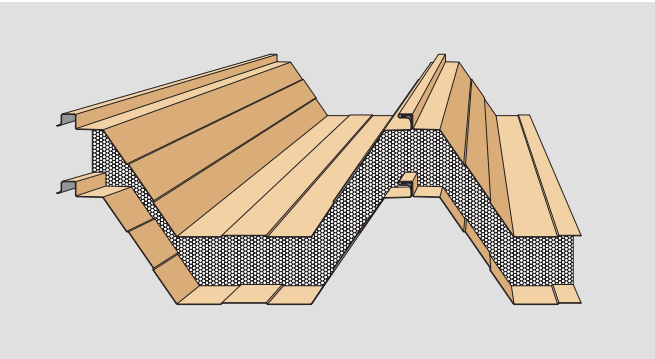
倉庫や工場などの中規模から大規模な屋根に最適。

■使用材料

- ・各種溶融亜鉛めっき銅板
- ・溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき銅板
- ・塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき銅板
- ・各種耐酸被膜銅板
- ・溶融55%アルミニウム2%マグネシウムー亜鉛合金めっき銅板
- ・塗装溶融55%アルミニウム2%マグネシウムー亜鉛合金めっき銅板



■本体主要寸法



■標準仕様

上折板	板厚	0.8mm~1.0mm		
	形状	H160-200		
下折板	板厚	0.6~1.0mm		
	形状	H160-200		
原板幅		762mm		
働き幅		500mm		
m ² 当り必要なm数		2.0m		
勾配		3/100以上		
自然曲率半径		—		
加工可能な長さ		min 1500mm	max 12m	現場成形可

*熱伸縮により接合部が金属疲労を起こす場合がありますので、40m以上の長尺材が必要な場合は、ご相談ください。
*熱伸縮による屋根音が発生する場合がありますので、静寂な室内環境が必要な場合は、ご相談ください。

■断面性能

板厚 (mm)	単位重量		断面性能			
	kg/m	kg/m ²	正 圧		負 圧	
			断面二次 モーメント I _x (cm ⁴ /m)	断面係数 Z _x (cm ³ /m)	断面二次 モーメント I _x (cm ⁴ /m)	断面係数 Z _x (cm ³ /m)
0.6	3.74	7.48	297	33.8	122	13.9
0.8	4.94	9.88	342	40.3	224	25.4
1.0	6.13	12.27	447	52.4	332	38.8

(断面性能は、JIS A 6514に準拠した曲げ耐力試験による)

■接合部強度(スライドタイプ)

単位:N

板厚 (mm)	吊子[亜鉛めっき/t=1.2]	
	NS(3.0×40)	SS(2.5×45) スライドB吊子R1
0.8/0.6	7773	7960

■接合部強度(固定タイプ)

単位:N

板厚 (mm)	吊子[亜鉛めっき/t=1.2]		
	NS(3.0×40)	TS(3.2×40)	SS(2.5×45)
0.8/0.6	7888	7630	8070

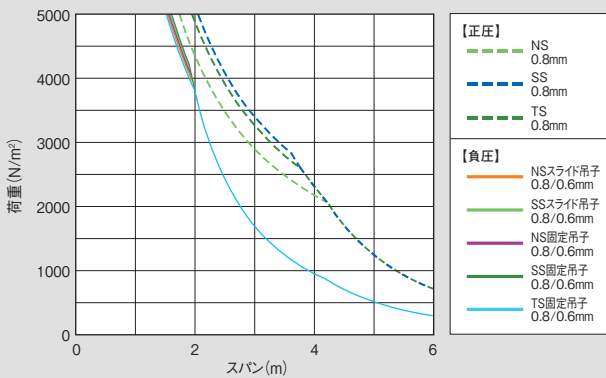
※()内はタイトフレームの寸法

(SSR2007に準拠した複合試験による)

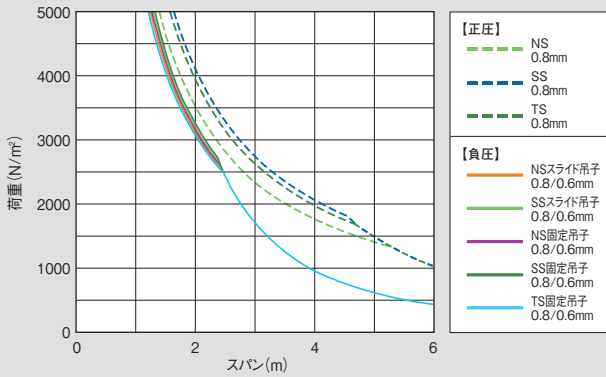
■許容スパングラフ

⚠ 建告ー平成12年1458号、1454号に定める風圧力が
不明な場合は最寄の営業担当までご相談ください。

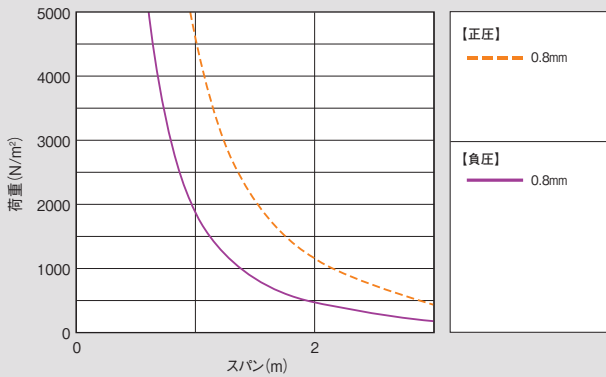
[単純梁]



[連続梁]

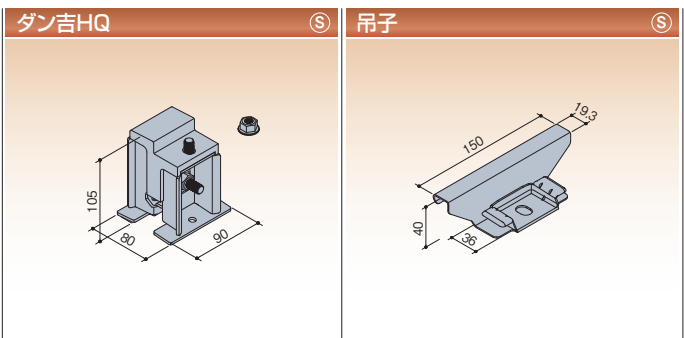
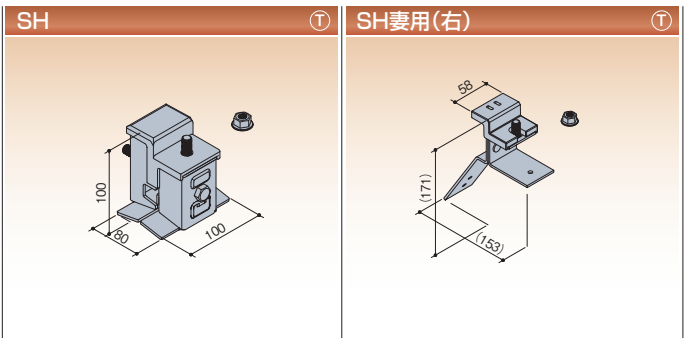
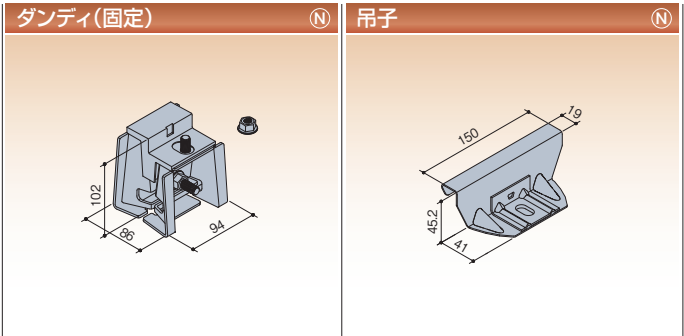


[片持ち梁]



標準付属部品

〈固定タイプ〉



〈スライドタイプ〉

